旭ヶ丘キリストの教会
主日礼拝順序
２０２１年１０月３１日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙　　祷		一　同
讃　　美※	讃美歌５６「七日の旅路」	一　同
主の祈り※	（聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください）	
讃　　美	讃美歌２４７「檻をはなれ」	一　同
教会学校	絵本「ﾊﾝﾅの祈りと少年ｻﾑｴﾙ」	牧　師
讃　　美	讃美歌142「栄えの主イエスの」	一　同
聖書朗読	ネヘミヤ4:1-6	
奨　　励	ネヘミヤ記の福音(第4回)	牧　師
主　　題	「神が戦われる」	
讃　　美	讃美歌380「立てよいざ立て」	一　同
献　　金	献金と感謝の祈り	
聖　　餐		
頌　　栄※	讃美歌５４６「聖なるかな」	一　同
祝　　祷※		牧　師
来週の箇所		

※印のところでは御起立下さい。

☆　はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申しあげます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
☆　私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
☆　献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです（２ｺﾘﾝﾄ9:7）。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
☆　キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
☆　第二礼拝後、軽食を用意してありますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
☆　二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会　ニュース

《今週の歩み》
10/31（日）聖日礼拝
11/１（月）
　/２（火）
　/３（水）（文化の日）
　/４（木）10:00聖研
　/５（金）
　/６（土）13-16子供ｵｰﾌﾟﾝﾊｳｽ

《祈りの課題》
①コロナ禍の速やかな終息のために
②礼拝に来れなかった人々のために
③教会学校の子供たちが救われますように

良書ハイライト

「交わり」
（ボンヘッファー著「共に生きる生活」新教出版社）p.4より

「見よ、兄弟が和合して共におるのはいかに麗しく楽しいことであろう」（詩篇13:1）。

キリスト者にとって、彼がほかのキリスト者との交わりの中で生きることを許されているということは、決して自明的なことではない。イエス・キリストは、敵のただ中で生活された。最後には、弟子たちも皆、イエスを棄てて逃げてしまった。十字架の上で、彼は悪人や嘲笑者に取り囲まれて全くひとりであられた。彼は神の敵たちに平和をもたらすために来られたのである。だからキリスト者も、修道院の孤独な生活へと隠遁することなく、敵のただ中にあって生活するのである。そこにキリスト者は、その課題・働きの場を持つのである。「汝の敵のただ中に、神の支配がある。そこで、そのことに耐え得ない者は、キリストの支配を願わず、友人たちのただ中にいようとし、バラとユリの中に坐っていようとし、悪人と共にいることを願わず、敬虔な人たちと共にいようとする者である。ああ、汝ら、神をけがし、キリストを裏切る者たちよ！もしキリストがそのようになさったとしたら、一体誰が救われたであろうか」（ルター）。

「私は彼らを国々の民の中に散らした。しかし彼らは遠い国々で私を覚える」（ゼカリヤ10:9）。キリスト者の群れ（Christenheit）は、神の御旨によって、種子のように「地のもろもろの国に」（申命記28:25）まかれた離散の民である。そしてそのことが、この民に対する呪いであり、また約束である。遠い国々で、不信仰者の中で、神の民は生活しなければならないが、しかしそのことが、世界の到る所に存在する神の国の種子となるであろう。

「私は彼らを集める。わたしが彼らをあがなったからである。
そして彼らは帰ってくる」（ゼカリヤ10:8,9）。